

PRESS INFORMATION

2018年5月24日

13.2ch フラッグシップ AV アンプ AVC-X8500H Auro-3D 対応ファームウェア・アップデート開始

**AURO** 3D
AUDIO

デノンでは、AV サラウンドアンプ「AVC-X8500H」を対象とした「Auro-3D」対応ファームウェア・アップデートを開始することをお知らせいたします。本日 2018年5月24日（木）より最新のファームウェアを公開。設定メニューからインターネット経由のファームウェア・アップデートを実行すると、サウンドモード「Auro-3D」が選択可能になります。

Auro-3D は、5.1ch+サラウンドバックの 7.1ch システムにフロントハイト、センターハイト、サラウンドハイト、およびトップサラウンドスピーカーの 6ch を組み合わせた 13.1ch システムで、自然で臨場感豊かな 3D サウンドを楽しむことができるイマージョオーディオフォーマットです。また、Auro-Matic® Upmixer によって、モノラル、ステレオおよびサラウンドコンテンツを自然な 3D サウンドにアップミックスすることもできます。AVC-X8500H では、再生するコンテンツに合わせて Auro-Matic Upmixer の効果を 5 種類*1 のプリセットと 16 段階のチャンネルレベル設定で調整することができます*2。

*1 AVR-X6400H / AVR-X4400H ではムービーを除く 4 種類のプリセットが使用可能です。

*2 入力信号にハイトチャンネルを含む Auro-3D 信号が含まれている場合は設定できません。

Auro-Matic 3D プリセット

- 小**：ポップミュージックや室内楽に最適なプリセットです。
- 標準**：ジャズ音楽や一般的な映画、テレビ番組に最適なプリセットです。
- 大**：オーケストラなど大きなスペースで収録されたコンテンツに最適なプリセットです。
- ムービー**：大きな爆発音のシーンがあるアクション映画など、映画コンテンツに最適なプリセットです。
- スピーチ**：ニュース放送などほとんどが対話で空間情報を持たないようなコンテンツに最適なプリセットです。

さらに AVC-X8500H は、Auro-3D 入力信号をそのまま再生する「ダイレクト」モードと接続されているスピーカーの構成に合わせて最大 13.1ch まで拡張して再生する「チャンネルの拡張」モードを切り替えることができます。

製品の詳細についてはウェブサイトをご覧ください。

AVC-X8500H：<https://www.denon.jp/product/hometheater/avreceivers/avcx8500h>

PRESS INFORMATION

デノンについて

2010年10月1日に100周年を迎えたデノンは、日本初のレコード・蓄音器製造会社、および日本初の業務用録音機器製造会社を起源とするプレミアムオーディオブランドです。世界初のデジタルPCMレコーダーを実用化するなど、革新的な技術力と開発力は、世界中から高い評価を得ています。2001年からはその呼称を「デンオン」から「デノン」に統一し、グローバルブランドとしてさらにその活躍の場を広げています。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社 ディーアンドエムホールディングス 国内営業本部

Tel 044-670-6608

- * Auro-3D®および関連するシンボルはAuro Technologies NVの登録商標です。
- * プレスリリースに記載された情報は発表日現在のものです。
- * 仕様及び外観は改良のため、一部変更させていただくことがあります。
- * 掲載商品の写真の色は、印刷の関係で多少現物と異なることがあります。